

1. 科目名 (単位数)	音楽Ⅱ (小) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2140
2. 授業担当教員	原 久美子		
4. 授業形態	演習 (個人、全員、グループ)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	「音楽 (小)」の発展として、音楽の基本的な演奏技能と知識を習得し、創造的な音楽教育を実践する能力の育成を目指す。実際には、諸外国の音楽教育の動向を視野に入れながら様々な角度から表現を捉え、声や身体の動きや楽器を媒体として表現を行う方法と、子どもの中にある音楽を引き出す方法を学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができる。</li> <li>2. 鍵盤楽器や打楽器やリコーダーによる「アンサンブル」ができる。</li> <li>3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。</li> <li>4. 音楽の基礎理論 (楽典) の理解ができる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>&lt;アサインメント&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業内容をもとに、レポート課題を提示する。</li> <li>② 弾き歌い、伴奏、範奏等の課題曲は、次週までに弾けるよう、よく練習してくること。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】</p> <p>音楽 (小) で使用した教科書を継続して使用する。その他、必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社</p> <p>【その他】</p> <p>ソプラノリコーダーを使用する。持っていない学生は、必ず第7回までに用意しておくこと。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。</li> <li>2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。</li> <li>3. 音楽の基礎理論 (楽典) を理解し、説明できるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の 40%</li> <li>2. 実技発表 総合点の 40%</li> <li>3. 音楽理論の理解 総合点の 20%</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	<p>楽器の演奏や歌唱の能力を向上させながら、小学校音楽科に必要な音楽活動や指導法を学びましょう。自らの音楽表現の幅を広げられるよう、積極的に授業に臨んでください。ピアノや弾き歌い、楽器等の演奏技能は、授業や試験直前に練習するだけでは絶対に上達しません。日頃から練習を積み重ねましょう。</p> <p>授業を受ける上で、次に挙げる基本的な事項は守りましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 音楽室の使用の規則 (ピアノの扱い方、飲食厳禁等) を守りましょう。</li> <li>(2) 携帯電話の使用は禁止です。また、授業に関係のない私語はやめましょう。</li> <li>(3) 宿題やレポートは指定した日までに提出しましょう。期日を過ぎると、内容が良くても評価は低くなります。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回授業時に周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (授業計画の説明他)、 アンケート、演奏レベルチェック	事前学習	教科書を準備し、授業に臨むこと。
		事後学習	教科書 (p. 114) の《春の小川》のピアノ伴奏を練習しておくこと。
第2回	音楽科の目標、学習指導要領の理解、 演奏課題提示	事前学習	教科書 (pp. 210~215) の「小学校学習指導要領 音楽」の箇所を読み、予習しておくこと。
		事後学習	学習指導要領の内容をノートにまとめること。 各自課された演奏課題を練習しておくこと。
第3回	「歌唱の活動」を通じた内容の理解① 一個のレベルに応じた弾き歌いの個人レッスン	事前学習	教科書 (p. 114) の《春の小川》の旋律を、歌ったり、 ピアノで弾いたりできるように予習すること。
		事後学習	教科書 (p. 114) の《春の小川》の旋律を、歌いなが ら弾くことができるように復習すること。
第4回	「歌唱の活動」を通じた内容の理解② 一個のレベルに応じた弾き歌いの個人レッスン	事前学習	各自課された演奏課題を予習しておくこと。
		事後学習	レッスンを振り返り、今後の課題を進度表にまとめ ておくこと。
第5回	「歌唱の活動」を通じた内容の理解③ 一個のレベルに応じた弾き歌いの個人レッスン	事前学習	各自課された演奏課題を予習しておくこと。
		事後学習	レッスンを振り返り、今後の課題を進度表にまとめ ておくこと。
第6回	弾き歌いの試験、レポート	事前学習	各自の弾き歌いの試験課題曲を練習しておくこと。
		事後学習	レッスンを振り返り、今後の課題を進度表にまとめ ておくこと。

第7回	「器楽の活動」における指導内容の理解① リコーダー等の扱いの理解	事前学習	教科書 (pp. 28～29) を読み、リコーダーの種類や奏法について予習すること。
		事後学習	リコーダーの奏法を復習すること。
第8回	「器楽の活動」における指導内容の理解② —合奏活動のグループ決めと練習—	事前学習	教科書 (pp. 30～34) を読み、小学校で取り扱う打楽器の種類や名称についての理解を深めておくこと。
		事後学習	各自担当する楽器で《ミッキーマウスマーチ》の演奏の復習をすること。
第9回	「器楽の活動」における指導内容の理解③ —合奏のグループ活動の仕上げ—	事前学習	各自担当する楽器で《ミッキーマウスマーチ》の演奏の仕上げをしておくこと。
		事後学習	グループ発表に向けて、《ミッキーマウスマーチ》の演奏の仕上げをしておくこと。
第10回	合奏のグループ発表	事前学習	発表に向けて、グループで演奏を合わせて練習しておくこと。
		事後学習	グループ合奏を振り返り、良かった点、改善点をまとめておくこと。
第11回	「音楽づくり」における指導内容の理解①	事前学習	教科書 (pp. 40～47) を読み、音楽づくりの指導内容について予習しておくこと。
		事後学習	グループごとにつくった音楽について振り返り、良かった点、改善点をまとめておくこと。
第12回	「音楽づくり」における指導内容の理解② レポート提出	事前学習	教科書 (pp. 40～47) を読み、音楽づくりの指導内容について予習しておくこと。
		事後学習	グループごとにつくった音楽について振り返り、良かった点、改善点をまとめておくこと。
第13回	「鑑賞の活動」における指導内容の理解① —低学年の鑑賞教材について—	事前学習	教科書 (pp. 48～51) を読み、低学年の鑑賞の活動の指導内容について予習しておくこと。
		事後学習	低学年の鑑賞教材について、ノートにまとめておくこと。
第14回	「鑑賞の活動」における指導内容の理解② —中学年及び高学年の鑑賞教材について—	事前学習	教科書 (pp. 51～53) を読み、中学年及び高学年の鑑賞の活動について予習しておくこと。
		事後学習	中学年及び高学年の鑑賞教材について、ノートにまとめておくこと。
第15回	まとめ (ピアノ演奏表現と弾き歌い)	事前学習	「音楽Ⅱ」で学んだ小学校で扱う活動の内容や教材について復習しておくこと。
		事後学習	「音楽Ⅱ」で学んだことを振り返り、小学校で扱う活動の内容についてまとめる。
期末試験			